

各位



## 鉄道事業者向けIPテレビインターホンシステムを開発・販売開始！

～ 横浜新都市交通株式会社様に導入 ～

サクサホールディングス株式会社の事業中核会社であるサクサ株式会社（代表取締役社長 越川雅生）は、このたび横浜新都市交通株式会社（代表取締役社長 太田浩雄）様向けにIPテレビインターホンシステムを開発し、平成22年3月に納入いたしました。

このIPテレビインターホンシステムは、駅を利用するお客様からの問い合わせに対応するために、各駅のホームおよびコンコースにIPテレビインターホンを設置し、管理駅の駅務室との間で通話を行うことができるシステムです。従来、横浜新都市交通株式会社様では、アナログインターホンシステムを使用し、お客様と会話を行っていましたが、駅周辺の高速道路の騒音や音質が悪いなどインターホンからの声が聞き取りづらいといった問題がありました。今回、音質上の問題点改善に加え、無人駅が多いため、お客様と駅員がお互いに顔を見て安心感を持って話ができるようにしたいとのご要望に応えるため、対面モニターを取り入れたことが評価され、導入にいたりました。

サクサ株式会社では、引き続きお客様サービス向上に取り組む全国の鉄道会社様へ快適、便利を提供するとともにお客様のニーズに適合した安心、安全、快適を実現するソリューションを展開してまいります。

### ■主な特長

#### 1. 駅騒音にもお客様と明瞭に通話が可能

長年の電話機開発で培った音声技術により、電車騒音、車騒音などにも強く、お客様の声をハッキリと聞き取れ、駅員の声も大きく聞き取りやすくなっています。

#### 2. 受話器の応答でお客様映像の自動表示・切替

忙しい駅務のなか、受話器を上げると自動的にお客様の様子が分かり速やかな対応ができます。インターホン内部の「対面カメラ」と背後の「全体カメラ」を併用することで券売機への誘導など適切な対応が行えます。

#### 3. 駅員の顔が見える安心の対面モニター、福祉手帳や券面の確認に券面カメラ

対応する駅員の顔が対面モニターで見えるので、お客様へ安心感を与えることができます。また、券面カメラから券種を確認でき、お客様への対応が確実、スムーズに行えます。

#### 4. インターホン最大32台を複数電話機で対応

複数の電話機で応答できるので、お客様が呼び出した時に1台が通話中でも別の電話機で対応でき、お客様をお待たせしません。

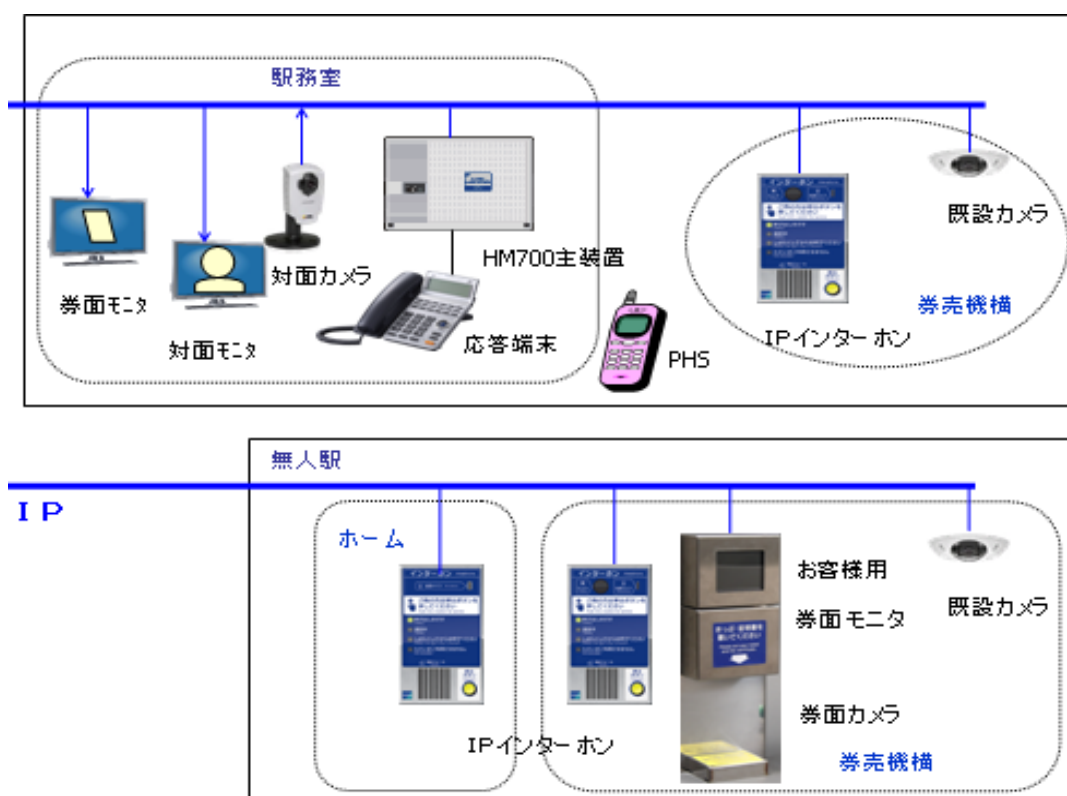
#### 5. シンプル構成で導入スタートし、大規模へ拡張可能

駅間のIP化に合わせて順次システムアップができるので、少ない投資から導入することができます。大規模システムへの拡張も可能です。インターホンは最大32台まで収容可能です。

#### 6. ユニバーサルデザインを採用

あらゆる人が容易な操作で楽に使えるデザインを採用しています。

■ システム構成



〈報道機関からのお問い合わせ〉

サクサ株式会社

総務人事部 総務広報担当：引木（ひきぎ）、福田（ふくだ） TEL：03-5791-5512

〈販売に関するお問い合わせ〉

サクサ株式会社

交通リテールシステム営業本部 第一営業部 担当：松本（まつもと）、脇（わき） TEL：03-5791-5853